

# 高輪会会報

Reunion of Tokai University Takanawadai Senior High School



東海大学付属高輪台高等学校同窓会会報

発行所：東海大学付属高輪台高等学校同窓会  
〒108-8587 東京都港区高輪2-2-16  
Tel.03-3448-4011 Fax.03-3448-4020



Vol.7

「高輪会」は、電気通信工業学校、電波工業学校、東海工業学校、東海高等学校・併設東海中学校、東海電波高等学校、東海大学高輪台高等学校、および東海大学付属高輪台高等学校の同窓会です。

題字は東海大学総長松前達郎先生

## 第3回高輪会総会報告



2001年度総会が、10月13日（土）15時30分から東海大学短期大学部高輪校舎421教室にて約70名の会員皆様の出席のもと、開催されました。

総会は、中島理事の司会により開会が宣言され、上島弘安会長の挨拶、遠藤國正校長先生の挨拶に続いて、議事に入り第一号議案「2000年度事業報告および2001年度事業計画」を土方副会長、第二号議案「2000年度収支決算および2001年度収支予算」を松原理事、第三号議案「規約改正」を佐藤（毅）副会長が其々ご説明され、全会一致で承認されました。

また、役員が改選され新役員と体制が土方新会長から挨拶並びに紹介がありました。

引き続き、2001年度事業計画、収支予算の修正案（事業年度、会計年度月の変更に伴う）の説明が浅野副会長、杉山副会長からあり、全会一致で承認されました。最後に大塚副会長の閉会宣言により、総会は閉会されました。

総会終了後、懇親会が関係者約90名の出席のもと開催され、お世話になった恩師と共に昔話に花を咲かせ、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

また、今まで音信不通でありました「第一期生」の方々も参加され感慨もひとしおであり、より皆様の親睦も深まった感が致しました。

そして、「高輪会」の発展に多大なる貢献をされた旧役員の皆様には、席上「感謝状」が新会長から贈られました。

今回の総会は、会員の皆様にも多数ご出席頂けるようにと、「建学祭」と同時開催を致しました。

当日の建学祭では「同窓会展示室」を設け、本校の歴史写真パネルを展示致しましたところ、会員皆様は、懐かしさに浸られたようで大変好評でありました。

高輪台高校の歴史の重みを感じさせると共に、改めて「継続は力なり」という言葉を実感させる総会となりました。

### 第三回定期総会での改正内容「高輪会」会則改訂

条 項	現 行	改 正
第8条	第8条（役員） 本会に次の役員を置く。 会長1名、副会長若干名、理事10名以内	第8条（役員） 本会に次の役員を置く。 会長1名、副会長若干名、理事15名以内
追 加	なし	第14条（相談役） 本会に相談役を置く。相談役は会長退任者とし、任期は役員任期と同等とする。相談役は役員会に出席することができる。
旧第15条 新第16条	第15条（部局の業務） 《総務部》 ①本会の運営の基本に関する事項 ②本会の組織及び事務局人事に関する事項 ③委員会活動に関する事項 《広報部》 ①会誌発行に関する事項 ②名簿に関する事項 ③広報活動に関する事項 《庶務・会計部》 ①本会運営のための予算・決算及び金銭の出納に関する事項 ②本会の財産及び物品の管理に関する事項 ③表彰・慶事・弔辞に関する事項 《事務局》 本会の庶務をつかさどる	第16条（部局の業務） 《総務部》 ①本会の運営の基本に関する事項 ②本会の組織及び事務局人事に関する事項 ③名簿に関する事項 ④幹事会・委員会活動に関する事項 《広報部》 ①会誌発行に関する事項 ②広報活動に関する事項 《庶務・会計部》 ①本会運営のための予算・決算及び金銭の出納に関する事項 ②本会の財産及び物品の管理に関する事項 ③表彰・慶事・弔辞に関する事項 《事務局》 本会の庶務をつかさどる
旧第27条 新第28条	第27条（会計年度） 本会の会計年度は毎年4月1日から、翌3月31日までとする。	第28条（会計年度） 本会の会計年度は毎年9月1日から、翌8月31日までとする。

## 20,000 余名の同窓生の 新たな活動に期待

校長  
遠藤 國正



高輪会（付属高輪台高校同窓会）は、付属高校の中で一番歴史が古いと聞いております。我校は創立から 58 年を経過し、幾多の変遷を経て今日に至っています。

本校は工業教育を基本に混乱期を経ながら科学技術の振興や産業教育振興のバックアップのもと、多くの技術者を輩出し、戦後の日本の復興に重要な役割を果たして来ました。今や付属高輪台高校はその役割を終え、2001 年 3 月情報理数科、電子通信科、定時制課程を廃止し、1998 年 4 月男女共学普通科高校としてスタートさせました。1998 年 10 月には「創立 55 周年記念事業」として新校舎を完成させました。2001 年 3 月、初めて女子の卒業生を送ることが出来ました。2002 年 8 月「創立 60 周年記念事業」の一環として、多くの種目を同一場所で実施可能な総合グラウンドを開設いたしました。

お陰様で卒業生数も 20,323 名（内女子 338 名）となりました。これは、付属高輪台高等学校同窓会にとっても画期的なことであり、同窓会発展により一層の明るい展望が、開けたかと思えます。

今後、同窓会の様々な活動「同窓会名簿作成」「いとし会」等を確立されることは、我々に取りまして大きな力となり、皆様と共に新しい学校づくりに邁進して参りたいと存じます。

同じ学舎に学んだ同志として交流できる同窓会を、皆様の新たなネットワークとして活用され、より皆様に連帯の絆を深めて頂きたいと思えます。

新たな世紀を迎え、高輪会の更なる発展と会員皆様方の益々のご活躍を期待しております。

### □名誉会長・顧問・相談役

名誉会長	校長	遠藤 國正
顧問	教頭	杉 一郎
顧問	教頭・事務長	松原 健次
相談役	前会長	上島 弘安

### □新役員紹介

会長	土方 啓司 (S36)	理事	中村 則之 (S54)
副会長	大塚 昭 (S37)	理事	森 公法 (S57)
副会長	杉山 守男 (S40)	理事	佐藤 潔 (S62)
副会長	三浦 政彦 (S40)	理事	足立 健 (H05)
副会長	浅野 修一 (S48)	理事	大日方良輔 (H05)
監査	本田 達雄 (S26)	理事	青木 晃 (H05)
監査	伊藤 信雄 (S27)	理事	石田大次郎 (H07)
理事	中島 洋介 (S40)	理事	高井松太郎 (H07)
理事	高橋 幸夫 (S46)	理事	鶴岡 薫 (H13)
理事	広村 直行 (S52)	理事	池田 文 (H13)
理事	志賀 重久 (S53)		

## 高輪会第 3 期体制に向けて

高輪会会長  
土方 啓司



会員の皆様方には、益々ご清栄の御事とお慶び申し上げます。

高輪会は、昨年「第 3 回総会」を開催いたしました。1995 年に本校卒業の教職員並びに有志の方々のご尽力により新生「高輪会」として再発足してから、2 期 6 年が過ぎました。その間、男女共学制の導入、創立 55 周年記念事業としての新校舎完成、昨年 3 月には女子 1 回生を新会員として迎え、総勢 20,323 名の大きな高輪会となりました。

昨年の第 3 回総会では、第 3 期目に入ることを一つの節目として、本部役員を一新し若返りを図りました。実働部隊の要である副会長を従来の 2 副会長制から 4 副会長制へと拡充し、理事も昭和の年代から平成の卒業生まで幅広く参加を頂き 14 名体制と充実しました。勿論、上島前会長・松原・本田・伊藤の各先輩方には会の重鎮として顧問・相談役・監査役等でお残り頂き、我々の活動に対し種々ご助言をいただいております。本年は、総会の無い年にあたるところから高輪会の行事として「第 2 回いとし会」を計画しております。昨今の社会情勢では、特に労働問題・就職問題は皆様方の関心が深いものと思われ、その業界で活躍されている同窓生の菅野宏三氏（昭和 36 年 3 月卒）に講演をお願いし、色々なお話を伺う中での質疑応答、その後の懇親会等を用意し皆様方の旧交を暖めていただきたいと考えております。奮ってご参加いただきたいと思います。

学校としては本年、創立 60 周年記念事業として「総合グラウンド」開設の運びとなったことが新校舎完成に続く大きな行事でもあります。「グラウンドが欲しい」これは我々永年の夢でもありましたが「ようやくにして」と言うか「待ちに待った」と言うか、これからは自前のグラウンドで体育祭が出来ること、真に喜ばしい限りであります。これまでご尽力いただきました、学校並びに諸先生方のご努力に心からの敬意を表させていただきます。

高輪会の活性化は、本部役員だけではなく卒業生の皆様方が一人でも多くお集まりいただき、時には恩師と語り、時には旧交を温め、また時には人生の糧としての活力を得ることが涵養と思っております。この会報にて新役員の一言紹介をさせていただきますが、私共役員一同、皆様方が一堂に集えるような場を提供すべく活動を続けてまいりますので、一人でも多くご参加いただくようお願い申し上げます。

# 新役員及び体制紹介

第3回高輪会総会において、新役員が選出されました。

同窓会の絆を更に深めようと、役員各々意欲的に新体制で、取り組む所存です。

今後とも皆様のご協力宜しくお願い致します。

## 副会長 大塚 昭 (S37 卒)

この度、同窓会役員の副会長に選ばれました大塚 昭です。総務担当副会長として、今後どのように同窓会活動に携わって行くべきか、苦心しているのが現状です。しかし、この機会を有効に活かし、同窓会役員として、諸先輩方のご支援・ご協力を頂きながら、東海大学付属高輪台高等学校の同窓会を、盛り上げていきたいと思っております。



## 同窓会に思うこと

### 副会長 杉山 守男 (S40 卒)

旧東海電波高等学校を卒業して37年団塊の世代、会社に就職、この間十数回の転勤、そして結婚、子育てとごく当たり前の生活を送って参りました。

ようやく、子供達も半人前ながら親の手を少しずつ離れようとしております。

この様な中で自分自身を振り返り、そして自分を見つめ直すとか何か社会への恩返し「社会貢献」等ができないものかと考えるようになったのです。

こんな事を考えている最中、30数年ぶりの高校クラス会の開催、参加した仲間は十数名と当時のクラス生徒数(40数名)から比較するに半分にも満たない出席率でした。

しかし、皆昔を懐かしがり、そしてこれからの人生を語る…こんな会話に始終し花が開いた一時になりました。

それから数週間後、学校の事務局からの連絡で「いとし会」開催についての実行委員のご依頼が有り、ある程度時間的に余裕があったものでお引き受けを致しました。

実行委員会に出席する中で、多くの諸先輩方との交流が出来、また違った意味での「縦」の繋がりが持てたのも有意義な事でした。

今まで37年間の中で培った経験を、少しでもこの様な場で生かし切れたらと思い、微力ながら実行委員の皆様と話し合い、そして方向性を見だし、企画を行ってまいりました。

第一回「いとし会」も事務局並びに実行委員長はじめ各役員の方々のお力添えで、成功裏に終了させることが出来たのです。

まさしく地味な行動では有りますが、母校を卒業した仲間への「社会貢献」が出来たのかな？と勝手に想い、また同時に中年を迎えた自分自身への慰めだったのかなとも思っています。



大きく社会情勢が変わっている昨今、些細な場かも知れませんが卒業生一丸となって、「縦・横」の繋がりを大いに活かし、将来へ向けての礎になればと考えております。

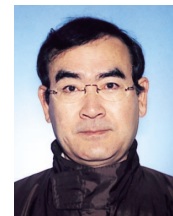
後輩は勿論、同級生及び先輩の方々と、まだ音信が取れない方が大勢いると伺っております。今後、「同窓会」として地道な行動により、一人でも多くの卒業生に率先して参加して頂けるそして、人生が語り合えるそんな「同窓会」を目指していきたいと思えます。

## 副会長 三浦 政彦 (S40 卒)

第三回総会にて、副会長に選ばれました昭和40年電子科卒業の三浦でございます。

広報担当として浅野副会長殿と各役員の皆様と一緒に、会員皆様とのパイプ役を果たすと共に、同窓会活動をご報告する会報の編集発行、並びに同窓会名簿のメンテナンスと編集発行を中心に活動する所存で御座います。

現在、高輪会会員数は、二万名を超える規模になっておりますが、特に昭和50年以前卒業の会員把握は、残念ながらその約半分以下でございます。広報担当として、会員各位の消息調査活動を今後も進めてまいります。是非、会員皆様の情報発信をお願いすると同時に、同窓会への積極的なご参加を戴き、皆様と一緒に同窓会の更なる発展に結び付けたいと思えます。どうぞ、宜しくお願い致します。



## 同窓会の一人として思うこと

### 副会長 浅野 修一 (S48 卒)

この度、多くの先輩・後輩の中から高輪会の役員を拝命したことを、心から光栄に存じます。

高輪会も年々会員数が増加してはおりますが、我々の周囲に目を転じますと、出生率の低下に伴う進学人口の減少によって、高校・大学は冬の時代を迎えつつあります。又企業社会でも、かつて経験したことのない長期不況の中で、就業戦線は氷河期時代とも言われており、就業者の間でも終身雇用の崩壊が始まろうとしているなど、会員各位それぞれで苦労されていると云う現実があります。

この様な厳しい現実を直視し、その中で同窓生並びに学園の発展のために、何をなすべきかをベースに、会員相互の親睦だけでなく、同窓生の仕事や日常生活に役立つ幅広いネットワーク作りに取り組むべきだと考えています。



そして、活動するに当たっては、限られた年齢層に偏りすぎず、特に若い同窓生に積極的に活動して頂き、裾野を広げる組織作りを進め、エネルギー溢れる同窓会にしたいと、微力ながら頑張っていこうと思っています。

### 理事 中島 洋介 (S40 卒)

同窓会の皆様には、益々ご健勝で多方面にご活躍のことと拝察致します。

本同窓会の3年間で簡単に振り返ってみますと、1999年12月12日に恩師・学校関係者・同窓生、160名の方々が参集し「第一回いとし会」を開催致しました。

これは人生80年と言われる今日、ひとつの節目として50才(いとし会)を迎える年に、母校で卒業生と恩師が一同に会し旧交を温め、卒業生相互の連帯を高め、母校の発展と飛躍を再認識することが出来る会であります。

2001年には、初めて女子の第一期生を送ることが出来、役員として2名の女子を迎え、会のより一層の発展と明るい展望が開けました。

2001年1月13日には、第3回定期総会が行われ、2期6年努めて頂いた会長が退任され、新たに21名の役員が選出されました。懇親会では、恩師の皆様と共に和やかな時を過ごし、新しい出発を祝うことが出来ました。更なる会の充実と発展を確信しております。

今後も皆様と共に、同窓会の新たな活動に邁進して参りたいと存じます。



### 理事 広村 直行 (S52 卒)

私は照明の仕事をしています。学校の新築工事の時は仕事での関係を頂き、不思議な縁を感じました。

そんな時に、今回の同窓会の話があり、快く引き受ける事が出来ました。これからは、同窓会の方々と親交を広げていきたいと思っています。



### 理事 志賀 重久 (S53 卒)

昭和53年に卒業した志賀といいます。卒業して20年以上過ぎ、学校とは遠い思い出となりましたが。新校舎を見たい！恩師や学友にも会いたいな！そんな気持ちに負け、今回役員を受けました。

卒業生が気軽に、学校を訪問出来るよう、環境を整えたいと思っています。よろしくお願い致します。



### 理事 中村 則之 (S54 卒)

高輪台を巣立って二十余年。原子科出身の私は、この高輪台で放射線・原子力と出会い、今では原子力関連の会社に勤めています。その間も母校は大きく変わり、高輪会も充実してきました。今後も微力ながら



がんばります。

### 理事 森 公法 (S57 卒)

S57年卒の森 公法です。一昨年、東海大学の学園間研修で一年間高輪台高校で教鞭をとりました。新校舎・共学と大きく変わったことを身をもって感じました。今回役員として、少しでも高輪会のお役に立てればと思います。



### 理事 足立 健 (H05 卒)

私は平成5年に普通科を卒業し、東海大学工学部土木工学科に進学致しました。その後、(株)ピー・エスに入社し主にプレストレストコンクリート構造物の技術者として学び、現在関連するウォータージェット技術によるコンクリートリノベーションに携わっております。同窓会役員としては、至らない所だらけではあるかと思いますが、できる限りはお手伝い致したいと思いますので、宜しくお願い致します。

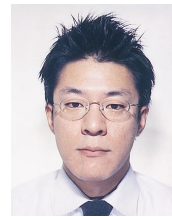


### 理事 石田大次郎 (H07 卒)

平成7年度卒業の石田です。

まさか私が同窓会の理事を任せられるとは、思いもよりませんでした。これも何かの縁と感じております。

卒業生の皆様が興味を持ち、参加して頂ける同窓会作りを目指します。



### 理事 鶴岡 薫 (H13 卒)

私は、東海大学教養学部芸術学科デザイン学課程に在籍しています。

高輪会会員をさせて頂いて2年目になります。

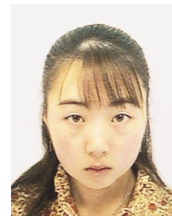
素晴らしい先輩方から多くを学びながら、初代女性会員として微力ながら頑張りたいと思っています。



### 理事 池田 文 (H13 卒)

この度、理事を仰せつかりました池田文です。

私は今、東海大学の2年に在学中です。学生という身分なのでどれだけ高輪会のお役に立てるのかわかりませんが、女子一期生として、精一杯頑張りたいと思います。



## 「第2回 いとし会」 開催案内

### 第2回「いとし会」に向けて

「高輪会」副会長  
**浅野 修一**



母校の同窓会は、一番の歴史がある中で、60年間何の活動も出来ずにいましたが、多くの問題を抱えながらも同窓生の努力によって、4年前ついに日の目を見ることが出来たのです。

平成11年12月12日「第一回いとし会」を恩師・多くの同窓生の皆様、そして在校生を交え盛大に挙行されました。

このことは、今後の同窓会においても大変意義のあることと考えます。

特に、これからの日本においても高齢化社会を迎えるにあたり、いとし会は会員相互の親睦と意見交換を通じて、会員同志の生涯教育や雇用情報、日常生活に役に立つネットワーク作り、各種セミナー、イベント等を視野に入れた幅広いチャンスの場を設けたいと考えています。

現在の実情としては、大先輩のネットワークに頼り「第2回いとし会」を開催します。今回は、母校の卒業生で現在人事・転職コンサルタントとして、広い分野でご活躍されている菅野宏三氏を講師に迎え、10月26日（土）に講演して頂きます。会員多数のご参加をお待ちしています。

今後は、若年層の力も含めてこの「会」が新たな交流の場として、発展することを期待します。

問い合わせ：高輪会事務局（中島洋介先生）

TEL：03－3448－4011

FAX：03－3448－4020

### いとし会「菅野宏三」講演会



演題「今、日本の労働市場で何が起きているか！」

日本の労働市場で終身雇用の時代は終わりました。労働市場の現在と将来を語ります。

開催日：平成14年10月26日（土）

時 間：午前10時30分～午前11時30分

場 所：食堂（B2F）

#### <講師プロフィール>

1942年東京・豊島区生まれ。

1961年東海電波高等学校（現高輪台高校）卒。

1965年東海大学工学部電子工学科卒。

日本航空関連会社（東洋端子）、日本テキサスインスツルメンツなどの外資系企業勤務後、伊藤忠商事グループの総合人材サービス会社（キャプラン）で部長コンサルタントとして多くの人材紹介を行う。

その後、独立し人事戦略コンサルタント、大学講師、夕刊フジ「転職道場主」、日刊ゲンダイコメンテータ、池袋転職塾を主宰している。

経済誌、情報誌でビジネス評論家・人事コンサルタント・転職コンサルタントの肩書きで寄稿・評論活動中。

先のNHK討論番組“失業率5%～いま何が起きているか～”に就職コンサルタントとして出演し、現場の状況を報告し「大失業時代の到来」を示唆した。

「紹介ネット」のビスコ株式会社顧問でもある。

日本外国特派員協会員。人事戦略研究所代表。人材紹介経営者協議会ネットワーク代表幹事。Tプラザ異業種交流会会長。東海大学同窓会東京ブロック北部支部長。

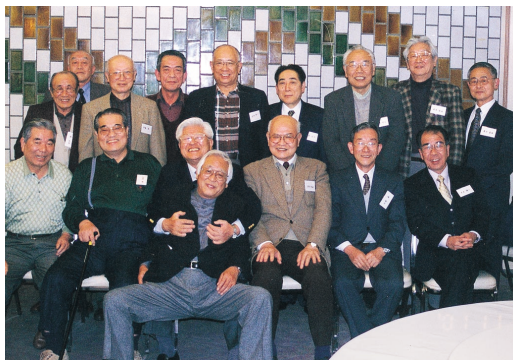
#### <著書紹介>

- ・『中小・ベンチャーの人財獲得と育成術』 日本法令 誰も書けない採用のノウハウ、プロが明かす本当の裏技
- ・『転職で成功する人、失敗する人』 PHP 研究所 人生の壁をチャンスに変える55のノウハウ
- ・『人材紹介業設立・運営完全ノウハウ』 日本法令 あなたも「民間の職安」になれる

## 同期生便り

### 平成 13 年度・昭和 26 年卒同期会

11月30日有楽町の山水楼で開催した。今年は高輪会総会と重なり参加者の減少が懸念されたが、木枯らしの吹くなか16名の参加をいただきました。集まってみれば、同期同窓の昔にかえり、近況、その他に話しが弾み酒を酌み交わし、和気あいあい楽しい一時を過ごしました。慣れない幹事に仲間の協力を得『東海スピリッツ』を確認し再会を期して解散しました。(吉田)



### 東海高校昭和 27 年卒同期会 梅の水戸偕楽園にて開催

我ら東海高校3期生(昭和24年中学卒業、27年高校卒業の仲間達)の同期会、今年のはたまたま卒業から満50年という記念の年に当たることから、趣向を変えて梅の名所水戸の偕楽園へ足を伸ばしての小旅行「観梅ツアーの同窓会」を楽しみました。

健康と当日の時間都合に恵まれた7名(合計年齢480歳)が参集。年齢の故もあってか、健康上の理由から同期会への出席者が減少傾向なのは、致し方なくも少なからず寂しい思いです。

さて、早春の2月24日(日)上野駅午前10時発常磐線特急スーパーひたち15号に、伊藤、内堀、黒尾、小長井、田島の5名が乗車、一路水戸へ。一時間余りの汽車旅で11時03分、梅の季節だけ開設される「偕楽園前臨時駅」へ到着。前日から水戸入りしていた寺門、水戸在住の須賀両名が駅前で合流して、予定のメンバー全員が揃う。まず駅前に鎮座する常磐神社に参拝して、いざ偕楽園へ。

梅はまだ4～5分咲きだったが快晴に恵まれ気分爽快。ほのかにただよう梅の香の中を散策しながらお互いの近況を語りあうなど旧交をあたためる。苑内を一周したあたりの見晴らしの丘から眼下に



白鳥や黒鳥の遊ぶ千波湖の眺めを楽しみ、下って湖畔の食事処「とう粹庵」にてしばしの休息と宴会。在校当時の思い出話のあれこれに一刻青春時代にタイムスリップして大いに盛り上がりました。

帰りの列車までに多少の時間の余裕があったので、水戸駅近くの「弘道館」(水戸徳川家第9代藩主斉昭公創始の学問の館)を見学。

冷気が迫ってきた夕刻4時48分水戸発フレッシュひたち44号にて帰路につきました。上野帰着は6時少し過ぎ。話尽きず、気分も別れがたく、結局上野駅近くの酒所で二次会。10時を回ったところで、ようやく再会を約しての散会となりました。

水戸の血を引く寺門にとってはゆかりの土地での楽しい同窓会、最近水戸に移り住んだ須賀にとっては学生当時習った論語の「有朋自遠方来 不亦樂乎」そのものでありました。

(出席者 伊藤信雄 内堀正 黒尾忠行 小長井昭司 田島昇 寺門道弘 須賀隆司以上7名)

### 昭和 53 年卒業生、大集合！

7月14日、一ツ橋の、喜山倶楽部で、昭和53年卒業の同期会を、クラス単位でなく、学年単位で、大規模に開催され。恩師の森下先生、若林先生、杉本先生、滝沢先生、清水先生にも出席頂きました。

当日は24年振りの再会であり、妊婦の集いと間違えるほどの体型や、髪型のだいぶ違う人、見覚えある顔なのに！誰？、声を聞くと〇〇くん！一言話し出すと“アッというまに学生時代の面影に、タイムスリップ”むかし話に花を咲かせ、先生方の前で堂々とタバコやお酒を飲みました。終わる頃には、2年に1度は再会しよう！！を締めの言葉に、和気あいあいのうちに夜が暮れて行きました。同級生っていいね！今回参加出来なかった人、次回を楽しみに待っていて下さい。

今回の開催にあたり、発起人として活躍した皆さんの労に感謝いたします。又、出席頂きました恩師の皆様、支援を頂いた「高輪会」に御礼申し上げます。



## 恩師便り

### 「生きる力」

#### 2002年(定年退職) 森下 秀夫

この一年間は学習期間と考え、「地域社会に還元」を目標とし、達成のため四半期に分け、上四半期では、コミュニケーションに絞り、貴重な体験もできました。次期のステップアップにしたいと考えています。今後「これからの経験・体験を活かし、地域社会に還元、役立てたい」と蝸牛のようにゆっくりと歩いています。



#### 東海大学付属高輪台高等学校への想い

##### 宮良 信博

周知のように、本年度からの公立学校では、学校五日制が導入されました。本校についての想いとして、一番印象にあることは、学校五日制をいち早く実施したこと



しょう。

平成3年度からの実施に当たっては、事前に学校長の諮問を受けて各学年から選出された生徒6名からなる生徒側委員、後援会委員、教師委員3名からなる学校5日制実施委員会が発足しました。保護者の方々には大変だと思いましたが、月に一回開くことにしました。

活動内容は、「学校五日制だより」を月に数回発刊し、生徒、保護者に五日制に対する理解と、土・日曜日の有効な過ごし方についての情報。具体的には社会活動やボランティア参加などの情報及び助言等を提供した。

実施前は、学業への影響が出るのではないか、懸念もありましたが、実施してみると、成績の向上が顕著に見られ、教師、保護者の杞憂になりました。現在は、完全共学校として付属校の中でも、上位校としての地位を確保しています。五日制の一員として携わった者としては、大変嬉しく思っております。

今後のご発展を心より祈念しております。

## 会費納入者一覧

「会報」第5号に掲載しました2000年4月～2001年3月までの会費納入者に間違いがありましたので、改めてその分も含め掲載致します。  
以下の方は、2000年4月より2002年3月31日までの会費納入者です。1996年に5年間分支払った方、及びそれ以降に上記該当年度を含め1年～5年及び10年分を納入された方の氏名が記載されています。(卒業年度順)

阿部 熊雄	嶋ノ内昭夫	中村 正智	田中 嘉章	椎木 雄司	佐々木博之	田丸 金也	佐久間 励	藤林 和俊	小林 健一	佐久間泰郎
岩崎 和夫	清水 正三	原田 佳典	長谷川礼史	高橋 俊昭	竹村 俊彦	長門 秀久	森 達郎	渡邊 勝三	清水 高志	田島 隆充
加瀬 義弘	樺山 清生	新井 俊雄	原田 武志	谷井 明	八木 伸夫	沼沢 秀明	青木 忠幸	中村 正樹	鈴木 敏之	中園 修一
飯田 一三	鷹取 将夫	片桐 敏和	平野 泰宏	萩原 治生	吉田 洋	野沢 秀治	石橋 明久	会田 涉	谷澤 朝昭	波多野拓也
佐川 一郎	手嶋 是光	黒須 昇一	三浦 政彦	平 能明	吉田 一郎	村田 和夫	磯田 義行	今江 祐司	中村 道彦	原田 洋
高橋 強	中島 秀夫	渡邊 俊吾	宮崎 和彦	細矢 洋一	吉田 孝夫	田中 和久	大竹 基之	神崎 喜和	濱組 晃	高原 文彦
田島 昇	早川 弘	土方 啓司	宮澤 淳	宮辺 修	石川 茂樹	泉 一則	萩野 英之	桑原 孝治	林 啓太	宇田川 源
寺門 道弘	原 道明	藤尾 智	吉田 光雄	石井 幹夫	小倉 輝久	飯塚 正弘	桑島 康弘	五島 明宏	村田 誠	大越 健宏
松崎 正弘	本田 達雄	小島 圭市	渡邊 輝宏	一条 康磨	小出 信行	尾花 佐一	小山 裕一	羽村 章吾	森 英二郎	松本 仁志
井坂 暉夫	村田 智司	山崎 弘	武井 良友	大滝 富正	佐藤 高広	徳永 尊彦	坂下 一仁	矢野 将治	大津 良太	北澤 和人
石田 金蔵	矢野 智司	横山 洋一	伊東 保	古川 清裕	清水 恒二	西崎 泰弘	東郷 康二	石原 秀一	木内 智弘	鈴木 隆文
横山 一郎	生井沢信司	芥川 兼三	磯貝 幸雄	本沢 正正	杉浦由基男	林 成治	藤原 光	尾崎 秀幸	北垣 博康	長澤 良和
宇田川武男	伊藤 信雄	小川 勝一	石塚 鵬	市川 喜平	村越真喜雄	溝口 仁	遠藤 学	葛生 智博	鈴木 和孝	福岡 健太
大副 浩三	黒尾 忠行	石塚 鵬	伊藤 兼夫	渡辺 勤	星 俊一郎	山口 克己	泉谷 剛	倉川 智博	谷 道弘	福岡 佳之
大屋 昭次	宮崎真木雄	石原 佑康	伊藤 兼夫	渡辺 純治	松本 孝二	柳川 浩之	楠本 隆	佐藤 覚	濱崎 道雄	荒川 健郎
小俣 昭治	吉田 申一	大塚 昭	梅原 雅一	有田 純治	水野 淳滋	小川 裕	三谷 誠治	佐藤 卓	平山 学	伊藤 健郎
金子 英二	松田 公治	大塚 昭	大塚 昭	木藤 英敏	宮下 正夫	中村 則之	望月 浩一	関根 覚	真野 光司	落合 真人
上倉 文彦	大島 巖	上条 秀夫	近藤 勝	重野 吉治	村越真喜雄	新井 一仁	井上 泰之	富井 満雄	森 康裕	風間 晶洋
木村 睦	田辺 英之	小林 俊夫	近藤 勝	富田健治郎	石坪 慶仁	井上 徳之	越智 孝司	長谷川和義	八太 秀和	小嶋 佑典
佐藤 倉	渡辺 釣	千木 良宏	柳町 義夫	森井 政明	浅羽 弘益	上草 直輝	谷中 和利	松田 孝彦	吉野 剛司	小林 太郎
田中 義勝	加納 康督	海老澤正昭	高松 聡	柳町 義夫	伊藤 幸夫	小池 康生	浅見 平	丸田 進	芦川 洋平	柴崎 剣
谷口 正光	中沢 良則	原田 広正	初川進一郎	青橋 逸郎	高橋 幸夫	小峯 康生	立川 博	山本 芳樹	大滝 憲治	柴崎 伸行
中田順之助	谷越 安男	西島 春三	藤田 繁	浅井 宏	久松 博	岸田 耕一	鳥海 努	石谷 融也	鴨下 謙介	原 和彦
長門 新八	市川 京子	長谷川健美	町田 晴男	奥本 秀樹	藤田 繁	岸 広昭	山内 翼	伊藤 正樹	菅井 祐宏	横 悠治
中西 実	小川 道治	細田 欽一	實 寿夫	加藤 克明	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
夏目 芳郎	小川 道治	細田 欽一	實 寿夫	加藤 克明	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
長谷川善治	千代田 栄	前澤 和夫	村田 良夫	服部 忠昭	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
初川 七郎	松原 健次	間下 幸幸	青木 兼昭	前田 周司	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
平塚 慶治	新井 信男	福本啓之助	佐々木 洋	梁瀬 利一	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
中村 享平	飯島 雅人	和信 真章	横山 真章	横山 真章	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
荻久保武雄	梅沢 憲正	北野 恒介	笠松 栄松	加藤 泰夫	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
池田 六郎	岸本 康弘	北野 恒介	笠松 栄松	加藤 泰夫	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
石岡 巖	高岩 正	大野 家和	笠松 栄松	加藤 泰夫	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
市川 幸平	竹野 王	笠松 栄松	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
井出 健一	星村 俊雄	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
井上 昌	橘 寿一	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
上島 弘安	田村 吉弘	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
奥山 貞男	横尾 紀憲	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
加藤 慶三	小尾 正二	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
鎌田 和夫	佐藤 毅	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
木俣 博匡	重田 克彦	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
栗田 富雄	菅野 一石	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎
坂路 誠	敦賀喜悦郎	加藤 泰夫	藤田 繁	藤田 繁	藤田 繁	坂本 俊一	魚地 博臣	加藤 慎也	須藤 智彦	村野 太郎

# 「大きな夢がまた一つ現実のものに…」

## —— 東海大学付属高輪台高校総合グラウンド開設 ——

事務局 中島 洋介

本校は、男女共学校としてスタートし、5年目を迎えました。現在の在籍生徒数は、男子 928 名、女子 524 名の合計 1,452 名です。

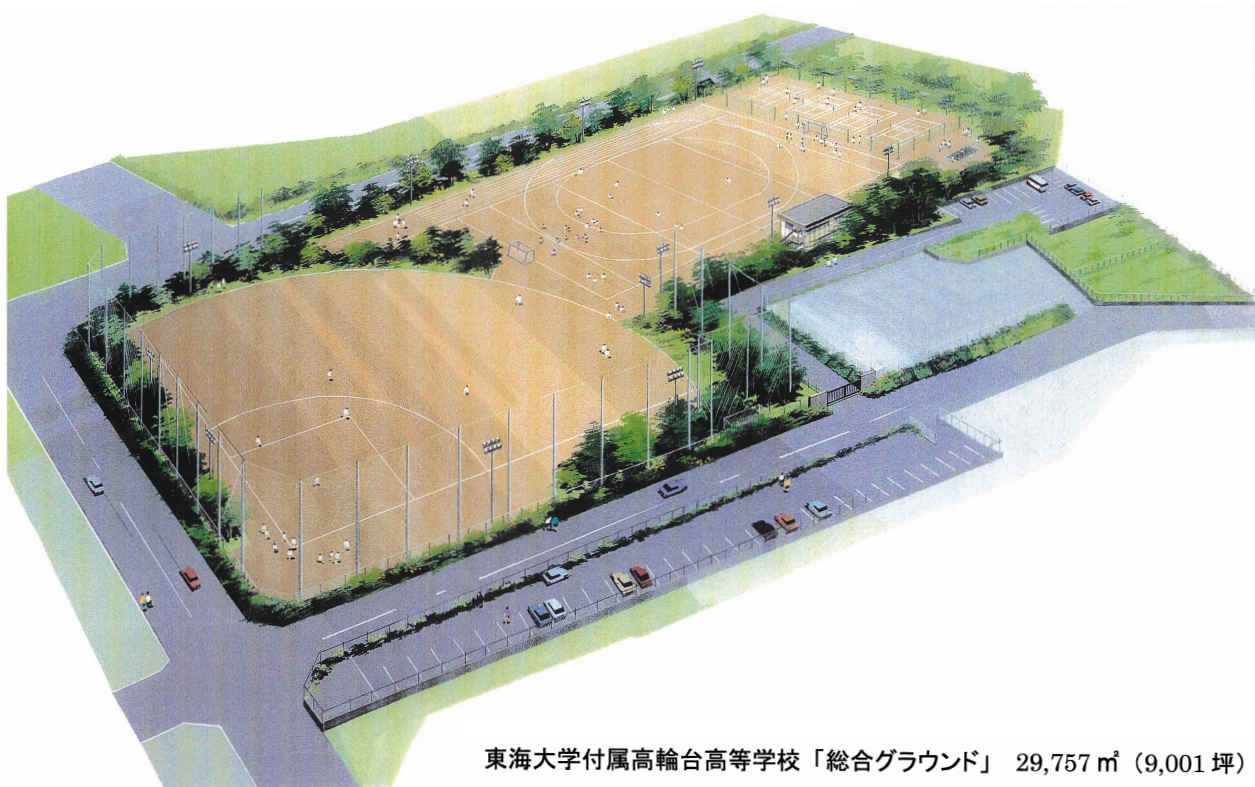
1998 年 10 月には、「創立 55 周年記念事業」として、充実した施設・設備を備えた新校舎が竣工いたしました。新校舎は普通教室すべてが視聴覚の設備を備え、廊下や階段は広いスペースがとられ、特に英語教育に力を入れた学校へと転換されました。

高輪という都心の山の手であるという立地条件は、狭いグラウンドという環境に甘んじなければならないという運命にありましたが、学校では常に教育環境を整えるために、努力が重ねられ、2002 年 8 月念願の総合グラウンドを開設する運びとなりました。この総合グラウンドは、広さが約 9,000 坪（東京ドームの約 2.3 倍）、野球場専用グラウンド一面、サッカー兼ラグビーグラウンドおよび陸上競技の 200 メートルトラック・100 メートル直線コース、砂場、テニス専用コート 4 面、クラブハウス等の施設があります。また、普通乗用車が約 80 台駐車できるスペースもあります。交通のアクセス

は、高速道路を利用していきますと約 45 分で行きます。また、地下鉄・JR を利用して「さいたま新都心」駅まで 55 分、徒歩 14 分のところにあります。このグラウンドを利用する野球部、サッカー部、ラグビー部、陸上競技部、テニス部等の充実した活動が可能となり、豊富な練習ができることとなりました。また、全校生徒が一同に集まり開催する「体育祭」も実施することが可能となり、長い間の夢が現実のものとなりました。

この総合グラウンドは、「創立 60 周年記念事業」一環として開設され、「東海大学付属高輪台高校・総合グラウンド」という名称で呼ばれる事になり、部活動の今後の活躍が大いに楽しみです。

本校の伝統学校行事の一つである「剛健旅行（夜間歩行）」は、今年で 34 回を迎えました。当初は奥多摩地区を中心に実施していましたが、車の増加に伴って、現在群馬県の東海大学嬬恋高原研修センターの周辺コースで実施しております。



東海大学付属高輪台高等学校「総合グラウンド」 29,757 m<sup>2</sup> (9,001 坪)

所在地：さいたま市大原5丁目1060-1 交通：JR高崎・宇都宮・京浜東北線「さいたま新都心駅」徒歩14分

## 学校報告・部活紹介

新校舎の充実した設備の中で、在校生は勉学・部活動に励んでいます。その活発な学生生活の様子をご紹介します。

### ・柔道部関東大会へ！

女子柔道部は、中井りん (57kg)・佐藤琴美 (78kg) 両選手が、東京都予選大会で優勝し、第50回関東大会出場が決定しました。

男子柔道部は、東京都予選で3位。

東京都の代表として、関東大会での活躍に期待する。



第50回 関東高等学校柔道大会 2002年8月7～9日 東京武道館

### ・コンクール大会出場

私達吹奏楽部は、今年の春、新人部員41人を迎え、現在110人で活動しています。

今回、8月12日に行われた吹奏楽コンクール・高校の部の予選において代表に選出され、9月8日(日)に普門館にて行われる、第42回東京都吹奏楽コンクールに出場が決定しました。当日は、高校の部では6校の代表校が演奏をして、上位2校が全国大会へのキップを手に入れます。上位を目指し日々練習に励んでいます。

#### 定期演奏会のお知らせ

吹奏楽部では、第13回定期演奏会を開催します。あなたの心を響かせる演奏をしますので、皆さん是非いらしてください！！

開催日：2002年11月23日(土)

会場：すみだトリフォニーホール・大ホール

開場：PM4:15 開演：PM5:00(予定)

お問い合わせ先：090-1857-1531(吹奏楽部直通)



### ・新人先生紹介

#### 小松原洋行

東海大学大学院文学研究科を昨年度修了し、現在東海大学付属高輪台高校に英語の教員として、勤務しております。

学校の主役である生徒たちの学習面・生活面を精一杯盛り立てていきますので、今後とも、宜しく願ひ致します。



#### 桑原 賢二

都内の私立学校で2年間講師を務めた後、今年度から東海大学付属高輪台高校に勤務しています。

私は数学を担当し、生徒と共に学びあう姿勢を大事にして頑張っていきたいと思います。



#### 松本初津美

今年3月まで東京学芸大学で、英語教育学を専門に学んでおりました。

教師になることはかねてからの夢。周りに支えられ、新米ながらも明るく楽しく1年生の担任、吹奏楽部の顧問を勤めさせていただいております。



#### 田辺 続久

今年の3月に東海大学理学部情報数学科を卒業し、母校でもある高輪台高校に教員として帰って参りました。担当教科は数学で、現在2学年の担任をしています。まだまだ未熟者ですが、頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。



### ・第38回建学祭に向けて

第38回建学祭は、10月12日(土)・13日(日)に開催されます。あと約1ヶ月後に控え、現在その準備が着々と進められています。皆それぞれのアイデアを駆使し、思い出に残る建学祭にして欲しいと思います。

さて、今回の建学祭テーマは、「がんばれ☆青春部」に決定しました。今年も模擬店等様々な企画で、楽しませてくれる事でしょう。是非、母校を訪れ青春の時を思い出して下さい。



### ・学校行事 (9月～10月)

9月17日(火)	期末試験(～20日(金))
26日(木)	学年会議
28日(土)	1・2・3年保護者会(成績発表等)
10月2日(水)	後期始業式・後期授業開始
3日(木)	中学校教員学校説明見学会
5日(土)	塾教員学校説明見学会
6日(日)	受験生・保護者学校説明見学会①
10日(木)	建学祭準備(～11日(金))
12日(土)	第38回建学祭(～13日(日))
14日(月)	第1回体育祭
17日(木)	第1学進路説明会
19日(土)	英検
21日(月)	第2学年保護者面談(～11月22日(金))
23日(土)	第13回吹奏楽部定期演奏会
27日(土)	受験生・保護者学校説明見学会②
31日(木)	第1学年現代文明論
11月1日(金)	建学記念日(休業日)
5日(金)	建学記念式典(朝礼)
7日(木)	生徒会立会演説会
8日(金)	後援会湘南校舎見学研修会
9日(木)	受験生・保護者学校説明見学会③

## 2002 年度活動報告

### 2000 年度 収支決算書

(2000 年 4 月 1 日～2001 年 3 月 31 日) (単位: 円)

収支	科 目	予 算	決 算	備 考
収 入	1. 前年度繰越金	2,363,720	2,363,720	
	2. 入 会 金	4,580,000	4,580,000	10,000 円 * 458 名
	3. 維 持 会 費	50,000	53,590	
	4. 特定預金繰入	0	0	
	5. 預 金 利 息	4,000	6,135	
	6. 雑 収 入	0	0	
	合 計	6,997,720	7,003,445	
支 出	1. 会 議 費	200,000	119,346	役員会食事代 (いとしを含む)
	2. 広 報 費	200,000	20,000	連合会会報代
	3. 渉 外 費	300,000	195,000	連合会会費・総会参加費
	4. 印 刷 費	1,200,000	0	
	5. 通 信 費	1,400,000	4,900	はがき代
	6. 旅費交通費	400,000	412,130	連合同窓会、役員会、いとし
	7. 用 品 費	30,000	0	
	8. 事 務 雑 費	10,000	310	
	9. 補 助 費	200,000	0	
	10. 記 念 品 費	300,000	298,158	卒業記念品 (証書ホルダー)
	11. 特 定 預 金	2,700,000	2,700,000	名簿代積立分、会費前払い分、他
	12. 雑 費	50,000	35,415	アルバイト料、振込手数料
	13. 次年度繰越金	7,720	3,218,186	
	合 計	6,997,720	7,003,445	

### 2000 年度 収支決算書

(単位: 円)

項 目	金 額
前年度よりの繰越額	10,000,000
今年度組入額	2,700,000
合 計	12,700,000

会計担当 松原 健次

監査の結果、収入・支出の各項目について、収支計算は公正妥当なものであることを認めます。

2001 年 5 月 1 日

監査役 加藤 慶男  
森 公法

### 規約改正に伴う 2001 年度 修正予算

(2001 年 4 月 1 日～2002 年 8 月 31 日) (単位: 円)

収支	科 目	前予算	修正予算	備 考
収 入	1. 前年度繰越金	3,218,186	3,281,186	
	2. 入 会 金	4,770,000	4,770,000	10,000 円 * 477 名
	3. 維 持 会 費	150,000	850,000	
	4. 特定預金繰入	600,000	925,000	
	5. 預 金 利 息	7,000	7,000	
	6. 雑 収 入	0	0	
	合 計	8,745,186	9,770,186	
支 出	1. 会 議 費	200,000	300,000	役員会食事代、他
	2. 広 報 費	100,000	100,000	連合会会報代、他
	3. 渉 外 費	200,000	200,000	連合会会費、他
	4. 印 刷 費	6,000,000	6,000,000	会報 (3 年分)、他
	5. 通 信 費	1,500,000	2,500,000	会報送料、他
	6. 旅費交通費	100,000	100,000	連合同窓会、役員会、他
	7. 用 品 費	10,000	10,000	
	8. 事 務 雑 費	5,000	5,000	文房具他
	9. 補 助 費	200,000	200,000	懇親会等
	10. 記 念 品 費	300,000	300,000	卒業生記念品
	11. 特 定 預 金	75,000	0	名簿代積立分、他
	12. 雑 費	50,000	50,000	
	13. 次年度繰越金	5,186	5,186	
	合 計	8,745,186	9,770,186	

### 2001 年度 特定預金

(単位: 円)

項 目	金 額
前年度よりの繰越額	12,700,000
今年度繰出額	925,000
今年度組入額	0
合 計	11,775,000

## 2001 年～2002 年度事業計画

(2001 年 4 月 1 日～2002 年 8 月 31 日)

- 2001 年 4 月 「入学式」三役参列、役員会  
 5 月 役員会  
 8 月 第 6 号「高輪会会報」発行  
 10 月 連合同窓会 (6～7 日)  
 高輪会定期総会・懇親会 (13 日 (土))  
 2002 年 3 月 同窓会入会式・新幹事との懇談会 (1 日)  
 名簿発刊 (第 3 版)  
 「卒業証書授与式」三役参列  
 9 月 第 7 号「高輪会会報」発行  
 役員会

## お知らせ

### □会費納入のお願い

会員の皆様には、同窓会費 1 年分 (2 千円) ～ 5 年分 (1 万円の一括) の納入を受け付けております。

何年分か明記の上、郵便局備え付け、または同封の振込用紙をご利用下さい。

口座番号 00100 - 9 - 155498

口座名 (加入者名) 高輪会

※氏名欄には、必ず卒業年をご記入下さい。

尚、すでに納入済みの節はご容赦下さい。

### □住所不明者の調査

会報の届かない方 (住所不明者) がいらっしゃいましたら、情報 (氏名、卒業年、等) を同窓会事務局までご連絡下さい。

## 編集後記

新たに広報を担当することになりましたが、会報編集にあたり右も左も分からないまま、なかなか前へ進まず、悪戦苦闘の末やっと発行にこぎつけました。

発行するにおいては、多くの皆様のご協力を頂き、ただ々感謝するばかりです。

尚、今回から割り付け・印刷は、(株)山九にお願いすることになりました。今後、役員会、原稿等の事務的なお手伝いをして頂くことになりましたので、宜しくお願い致します。

(広報担当: 三浦・浅野)

### 同窓会連絡先

高輪会 (東海大学附属高輪台高等学校 同窓会) 事務局

〒108 - 8587 東京都港区高輪 2 - 2 - 16

TEL : 03 - 3448 - 4011 ・ FAX : 03 - 3448 - 4020

ホームページ <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>

高輪会事務局分室 (株)山九内 (東海大学附属高輪台高等学校 同窓会 伊藤信雄)

〒107 - 0062 東京都港区南青山 4-1-11 リライアンスビル 303

TEL : 03 - 3405 - 7283 ・ FAX : 03 - 5414 - 5414

E-mail : syamakyu@sepia.ocn.ne.jp